



本寄贈で母校へ恩返し！春田嘉文さん

1月10日（金）、今年も大崎中学校の図書室にある『春田文庫』に41冊の新しい本が来ました。

これは、千葉県船橋市在住の春田嘉文さん(益丸出身)が、昭和52年から始められたもので、今年で38回目を迎えました。この間に蓄えられた本の総数は、1,600冊を超えているそうです。

寄贈式では、生徒を代表して安田泰智くん(2年生)が、「これからも本をたくさん読んで、人生の糧かてにしていきます。」とお礼を述べ、春田さんからは、「故郷に何か残したいという想いから始めました。自分が元気なうちは続けていきたい。」と話されました。



▲写真前列左から2番目、春田嘉文さん



母校へ恩返し！大丸小学校へ一輪車寄贈

1月14日（火）、大丸小学校（小磯俊彦校長、生徒数68名）において、昭和55年卒業生から在校生に対して、一輪車10台が寄贈されました。

これは、1月2日（木）に小学校を卒業して33年目で初めて同窓会が行われた際に、『何か小学校に恩返しができるか』との想いから贈られたものです。

卒業生を代表して吉本一祝さん(東干草集落)は、「学校にある25台の一輪車が古く修繕費がかかることを知り同窓会で話し合いをしました。贈ることができ良かったです。」と話され、瀨松心優さん(6年生)は、「卒業生からプレゼントしてもらいうれしいです。」お礼を述べました。



▲昭和55年卒業生一輪車10台寄贈



大崎産の農産物をPR！大崎町農業青年倶楽部

1月17日（金）～19日（日）、イオンモール鹿児島（鹿児島市東開町）において、『鹿児島県農業青年クラブ産直市』が開催され、本町の農業青年倶楽部は18日～19日の2日間出店しました。

この産直市では鹿児島県下7地区、45名の生産者が自ら生産した自慢の農産物を販売・PRしました。

本町倶楽部員からは、4名が出店し、桑茶、ほうれんそう、かぼちゃ、イチゴなど11品目を出品し、水位竜也会長は、「大崎の農産物を消費者と交流しながら販売することができ貴重な経験になりました。今後も大崎産の農産物をアピールする場に積極的に参加したい。」と話しました。



▲農産物を販売・PRする町農業青年倶楽部員